



清國問題  
關元調查書

1111



414  
A 893

第一 日本帝國



一、清國福建省ヲ他國ニ讓與スルハ貸與スル

セザルヲ(三十一年四月廿四日 日清間締結)

二、清國政府ニ於テ福建省内ニ鐵道ヲ敷

スルニ當リ他國ノ次員本又ハ技師ヲ求ムル

場合ニ於テハ必先ツ之ヲ日本國政府ニ

相談スルヲ(三十一年五月七日 日清間締結)

大正十一年四月  
隈侯爵邸寄贈

第二 英國

一、劉公島并威海灣内、宣嶼及周灣周圍三十英里以内之土地ヲ露國ノ旅順口占有ト同一期間内借入コト

二、山東省ニ於ケルガリンウ井ツチ子午線東註一百二十度四十分以東ノ沿海及沿岸地方ニ砲台、建設兵丁、駐紮ヲ許可スヘキコト

三、清國ノ揚子江一帯ノ土地ヲ外國ニ抵當トシ貸與シ又ハ割讓セカルコト

四、清國ノ二十英里以内ノ湖南省ニ於テ一港ヲ開クコト

五、河南省黃河北ニ於ケル炭坑及鐘山ヲ六拾

Blank page with vertical lines and a faint red seal at the top.

八、美開採掘ニシテ權利得ルニト

六、右礦山地方ト最近距離ニ於ケル鐵道幹

線(北京漢口線又北京鎮江線或ハ西線

共)及黃河渭河運河ハ水點ト聯結ス

年鐵道敷設權ヲ得ルニト

以上二十一年七月二十日英手シキケイト清

國總理密附附錄

七、香港村岸、九龍地方ニ百英方里(ブーパ

湾及三イルス湾ト連接セシ線トコウ寫及プロ

寫ト連接セシ線ト間ニ五ニ一帯中地方ヲ九

十九ヶ年間借入ルニト

又上二十一年六月九日英清間締結

八、上海及蘇州鎮江江寧抗及ヲ延テ益波

至ル鐵道敷設ノ下ヲ英シキケイト清國

鐵道大臣ト間ニ締結セリ

第三

雨路國

- 一、旅順口大連灣ヲ包含シ其以北ニ於テ守備ニ適當ナル一地方迄ノ土地及沿海面ヲ二十五ヶ年間借用スル
- 二、右借地界以北ニ一帯地ヲ設ク其際地内ノ主權ハ清國ニ帰シ尤清國兵此際地ニ来ラントスルニハ雨路國ト協議スルヲ要スル
- 三、旅順口及大連灣ノ一部ハ雨路清兩國ノ軍港ト為シ大連灣ノ殘部ハ開港場ト為ス
- 四、滿洲鐵道幹線ヨリ分岐シテ營口鴨綠江間ノ沿海ニ於ケル適便ナル一地方ニ至ル一支線ヲ布設スル權ヲ得タルコト
- 五、清國境土内ニ於テ黑龍江省西部國境ノ

三十年三月廿七日  
露清兩國間協定

外務省

一 矣ヨリ起リ(シベリア鐵道幹線ノ一矣ナルヲチチ府) 吉林  
ヨリ滿洲ニ入ル支線ナラシム  
 省東部國境ノ一矣ニ至ル(烏サ縣里鐵道ノヨリ至ル)  
 鐵道敷設ノ特權ヲ清東鐵道會社ニ與フ  
ベキコト(二十九年十月四日)  
清帝裁可)

第四

德國

- 一 膠河湾口兩岸ノ半島地并湾前湾内諸島嶼及河湾沿岸一帯土地ヲ九十九年
- 間借テ下
- 二 滿洲際ニ於ケル膠河湾ノ全水面并河湾ノ
- 周圍五十キロメートルノ地域内ノ主權ヲ保テ有ル
- コト
- 三 以上二十五年三月六日德清兩國間締結
- 六 膠河湾内諸島嶼及河湾沿岸一帯土地ノ主權ヲ德
- 國ニ歸スルニ合シテ膠河湾ノ全水面并河湾ノ
- 周圍五十キロメートルノ地域内ノ主權ヲ保テ有ル
- コト
- 四 將來山東省内地ニ於テ他ノ鐵道ヲ敷設セントスル

トキハ先ハ独逸國ノ承諾ヲ要スルコト

第五

佛國

- 一、東京ニ境界ヲ接スル支那諸省（即チ雲南廣西廣東三省）他國ニ讓與セサル、
- 二、石炭貯藏所トシテ廣州灣ヲ膠洲灣ト全一ノ條件ニテ借入ノコト、
- 三、紅河ニ沿ヒ東京ヨリ雲南府ニ至ル鐵道敷設權ヲ得ル、
- 四、東京灣ノ沿岸北海府及西江地方ヲ南寧府ニ連絡スル鐵道ヲ敷設スル、

Faint vertical text on the right page, likely bleed-through from the reverse side.

第六

清國

一 蘆漢鐵道

北京、北南方、滿橋ヨリ起リ

保定、正定、樊城、信陽ヲ経テ漢口ニ到ル、延長凡

四百五十里ナシテ保定、漢口間、月下経、其ノ支

出、稍、困難ト見ヘス、事、季、後、愈、カ、ル、漢口

漢口間ハ地盤ニ事、既ニ造リシ蘆漢橋

保定間ハ本年内ニ竣ニスル見込ナリ

本線、経、其、見、清國、主トシテ之ノ負担、担シ、白耳

義、其、残、額、ヲ、補助、貸、付、スル、約ナリ

二 粵漢鐵道

漢口ヨリ廣東ニ到ル、凡、三、百、里

線、終、ミテ、湖北、湖南、西、省、間、既、ニ、其、其

點、本、道、ノ、終、ハ、廣、東、省、倚、ル、部、分、ハ、未、タ、調

ト、省



查、運ニテラス

本線、米國資本家本年初秋、人ノ取シ工  
事、勘査、工民國應募、公債契約ヲ  
協定スルモノナリ

支線

粵漢鐵道支線ニアリ、廣

東ヨリ東北ニ至リ、南海ノ經テ、福海ニ到ル

凡二百十里、線路ニシテ、他、幹線ノ上ニ示

ヨリ分岐シテ、西方ニ至リ、梧州府經テ桂林

ニ到ル凡百五十里、線路ナリ

右支線、一年、其計畫ニテ、経費支出ノ方

去ハ未タ分明ナラス

六、北支、清江南間鐵道、七、北支、江蘇省ノ

清江南間鐵道、株式銀七千万兩募集

済ニテ、既ニ直隸總督一関申済シ、下

参考

力に二一「條約、滿洲鐵道」云々規定

一、清國、露國、左ノ諸線、依リ西伯利亞鉄

道ヲ清國、版図内ニ延長スルヲ許スキト

(甲) 露領、滿洲斯凌洛、清國吉林

省、渾春、至リ此処ヲ西北ニ向テ吉林首

府、達スル線

(乙) 西伯利亞、或市街ニ於テ停車場ヲ

清國、黑龍江、慶、渾、至リ此処ヲ西南ニ

向テ黑龍江、首府、齊、哈爾濱、至リ齊、

哈爾濱、吉林省、伯都訥、至リ、慶、東南

ニ向テ吉林首府、達スル線

二、露國、清國、黑龍江及吉林省ニ於テ布設スル

一切ノ鉄道ハ露國ニ於テ其經營ヲ支出シ其  
 制規ハ工事ハ全ク露國ノ仕方ニ依リ清國ハ一切  
 之ニ關係セズ露國ハ三十年間其監督ノ全權ヲ  
 有シ此年限滿シテ清國ハ相當ノ代償ヲ付セ  
 け身輕道及附屬物ヲ買度クル旨ノキコト

三、清國ハ現ニ所有スル鉄道ヲ延長シテ山海關ヨリ  
 奉天府（盛京省）ニ至リ奉天府ヨリ吉林首  
 府ニ達スルノ計畫ナルニ付テハ若シ將來ニ於テ清  
 國自ラ之ヲ布設スルヲ不便トスルモハ露國ニ於  
 テ金員金ヲ備ヘテ吉林首府ヨリ工事ヲ起シ以テ  
 鉄道ヲ敷設スルヲ許シ清國ハ十年間終ニ於テ  
 之ヲ買度クル權アリトテ該線路ニ關シテハ露國  
 ハ清國カ既ニ吉林ヨリ奉天府牛莊等ノ地ヲ

經テ履行シタル測量ニ依ルキコト

四、清國ノ計畫スル山海關ヨリ起リテ奉天府  
 至リ蒼平金山ヲ經テ旅順口左邊灣及  
 其附近ニ達スル鉄道ハ總テ露國ノ鉄道  
 制規ニ依リ以テ兩帝國ノ通商ニ便ニスルキコト

同 鑛山ニ關スル規定

吉林及黑龍江ノ二省並ニ長白山脈ニ在ル  
 鑛山ハ清露兩國ニ於テ之ヲ採掘スルコト

清國各地ノ人口及面積

人口

面積

福建省

一千四百七十七万人

一萬〇二百五十方里

廣西省

八百一十二萬一千人

一萬八千九百九十方里

廣東省

二千六百二十七万人

二萬三千四百二十方里

雲南省

五百八十二萬三千人

二萬七千四百五十三方里

揚子江地方

二億〇八百九十七万人

十萬五千二百方里



## 開港市場

(此圖乃膠州灣白領  
前江カレキカ)

開港地	所轄省	人口	開港年紀
上海	江蘇省	六拾餘萬	一千八百四十二年(天保十三年)
漢口	湖北省	七拾四萬餘	一千八百六十二年(文久元年)
天津	直隸省	六拾萬	全
廣東	廣東省	八拾萬	一千八百四十二年(天保十三年)
福州	福建省	六拾二萬	全
寧波	浙江省	二拾六萬	全
重慶	四川省	五拾萬	一千八百九十二年(明治五年)
九江	江西省	五萬二千	一千八百六十二年(文久元年)
益湖	安徽省	七萬八千	一千八百七十七年(明治十年)


鎮江	江蘇省	十三萬五千	千八百五十八年(安政五年)
宣昌	湖北省	二萬五千	千八百七十七年(明治十年)
芝罘	山東省	二萬六千	千八百五十八年(安政五年)
牛莊	盛京省	三萬餘	全
溫州	浙江省	拾萬	千八百七十七年(明治十年)
廈門	福建省	拾二萬	千八百四十二年(天保十二年)
汕頭	廣東省	四萬五千餘	千八百五十八年(安政五年)
九龍	全	五千	
北海	全	貳萬五千	千八百七十七年(明治十年)
瓊州	全	壹萬貳千	千八百五十八年(安政五年)
龍州	廣西省	不詳	
蒙自	雲南省	全	千八百八十六年(明治十九年)

(按國力膠州灣占領後開港ノモ)

岳州府	湖南省		千八百九十八年(明治三十一年)
之都澳	福建省	全	
秦王島	直隸省	全	
吳淞	江蘇省	貳拾萬餘	全

備考 人口ハ明治二十五年調ノモノニ據ル



統計ヲ得ルニトテ、（イ） 他外地ノ地方、（ロ） 於  
テマヤ

貿易

法中、亦ナル輸入港ニ上海、廣東、及天津、  
シテ其亦ナル輸出港ニ上海、漢口、福州、及  
廣東トス

年

輸入

（イ） 海陸両

輸出

（ロ） 海陸両

一八七〇 七一,〇〇〇,二七八 六一,九九〇,二三五  
一八八〇 七九,二九三,四五二 七七,八八三,五八七

日本支

一八九〇 一二七,〇九三,四八一 八七,一四四,四八〇  
一八九五 一七一,六九六,七一五 一四三,二九三,二二二

一千八百九十五年ノ輸出入、上海、天津、  
五十三、（イ） 打、（ロ） 弄、（ハ） トキ、（ニ） 海、（ヒ） 等、

輸入 二六二,六九五,九七三

輸出 二一九,二三八,六一三

合計 四八一,九三四,五八六

多ク、（イ） 外、（ロ） 貿易、（ハ） 進、（ニ） 年、（ヒ） 南、（ヘ） 元、（ト） 元、



シルツ見〜ハ殊ニ九十五年ハ日法戦争  
 ノ結果台湾ヲ割讓シ、牛莊ヲ日人ノ爲  
 トシ、廣東、香港地方ニ於テ里死病  
 流行シ、中央及南部ノ諸州旱魃アリ、且  
 銀貨下落シ、印度銀ノ相場甚クシク変  
 動シタル爲メ、貿易且日盛モ不振、時ナリ  
 ニモ拘テ、尚且ハ輸入物ノ上騰アル所ナ  
 リ

日本  
 亦ス〜ノ  
 宛

千八百九十五年ニ於ケル法英貿易ノ正割  
 ヲ見ルニ第一ニ香港ヲ第二ニ大英正  
 シテ日本ハ第三位ナリ、而シテ歐洲諸  
 正ノ合シタルモノ、如キモ尚ホ其下ニ死シリ、但  
 露正ハ其以外トス

香港輸出入總額	一四二、九六五、七二九	海商
大英正輸出入總額	四四、五三〇、九五七	
日本正輸出入總額	三二、〇一六、六八〇	

改州諸正露正隆

二八  
七二四、四七七

而して香港ノ總款中ニハ合唐トノ  
輸出入款一〇、五二二、九五二海西ノ金  
入スルモノトス

外債

法正改ニ存二千人百七十四年ノ改ニテハ  
外債ヲ有セザリシガ同年ノ末ニ於テ海  
關稅ヲ担保トシテ香港上海銀行ニ  
豊一隨銀行トシテヨリ六十二號七千

六百七十五萬磅ヲ八厘ノ利付ニテ借入  
レタルヲ端係トシテ尔後亦ニ豊一隨  
銀行ヲ任テ外債ヲ募集スルニ屢次

ニ及ビタルモ前後九次ニ漸次償還ノ  
法ヲ取リタルヲ以テ一千八百九十四年ニテハ  
其款甚シク巨多ナリザリシガ日清戦争  
為ノ軍事費及賠償金ノ為メ借入ル  
外債額増加スルニ至リ其積貯ナルモノ

収入

知ルニ由ナシト申スル大凡四年二百萬  
英鎊ノヨリ四千五百萬ノ積リニ内外スト  
云フテ可ナルベシ(陸軍年鑑)依リトキハ三  
千八百八十萬ノ積ナリト云フ)而レテ其

収入ハフオ、フランス氏、依シバ

海軍兩

租稅

三千五百萬兩

契稅(所片積ル内地稅也)二千三百萬兩

電氣稅其他内地稅 千二百萬兩

地方稅及土產所片稅 千萬兩

鹽稅等 千萬兩

賣官收入 五百萬兩

貢米 三百萬兩

特許(ハテトハス) 二百萬兩

合計 一億萬兩

租稅如左地方稅支弁スルモノノ際

身ヲ以テ北京政府ノ收入トナル也

小歎フにんん

法皇は於て西歐州諸天子、利益無きこと曰  
子陵存、讓與之先、諸權利、依テ其、  
多少ヲ見ん、可ク我王、其貿易上ノ志、  
ヨリモ利益上ノ志ヨリモ其地ノ接近  
セルことヨリ考ルルニ、是レモ利益痛痒シ  
成ルモノナリガ故、彼等、内訌上、若ク  
ハ外交上、於テ簡ニ其利益痛痒

及ボス、而テ變志アルニ於テハ、固ヨリ底  
味スベキ、權利ヲ有ルモノニシテ我王ノ  
君モ希望スベキモノ、彼等ノ独ニシテ  
保他シテ子内ヲ弄明、誘導守ル、一  
事アルニ、土耳志、帝王、西州保令  
名徴ニ依リテ、今日マダレ、僕士カ、其独  
立、他持スルコトヲ得ルガ故、法皇  
ニ對シ、利益ヲ有ル、諸天子、一

ノ味を存儀ヲ設ケテ  
日長ノ独ニテ  
保持スルノ是  
於テ  
輔翼スルノ必要

アリトハ  
不

身考

其道ニ味を存儀ニ  
女子利益

衝立テ  
依リ  
一  
張  
帳  
回  
セ  
サ  
シ  
テ

所  
由  
漫  
ニ  
而  
子  
に  
僅  
カ  
シ  
女  
を  
代  
ニ

女  
生  
命  
ヲ  
存  
ス  
ル  
コ  
ト  
ヲ  
得  
ル  
ル